

平成27年10月22日

弁論大会講評

6人の弁士の皆さん、お疲れ様でした。そして、素晴らしい弁論、ありがとうございました。実行委員の皆さんもテキパキとした進行、とても良かったと思います。ありがとうございました。

今年7月、お笑いコンビ「ピース」の又吉直樹さんが、「火花」という小説で、第153回芥川賞を受賞されました。テレビでは、「死神」と呼ばれる独特の雰囲気を持っておられますが、高校ではサッカー部で大阪代表としてインターハイに出場したスポーツマンでもあります。

高校卒業後、お笑い芸人になることを目指し、東京の吉本に入社しました。東京での生活は楽でなく、同期の仲間は週に3～4回もアルバイトをしていました。しかし、又吉さんはアルバイトは週1回にし、お風呂もクーラーもないアパートで生活しました。

理由は、芸人になるために東京に来たのだから、芸を磨く時間をたくさん取りたい。仲間が芸を磨く時間を10時間取るなら、自分は20時間取ろう。そうすれば、2倍速く芸を磨けるはずだ。こう考えたからだそうです。そうやって、たくさん本を読み、ノートにネタを書きためていきました。書きためたネタ帳は何と100冊になるそうです。そして、それが今の芸人としての成功につながり、更には芥川賞の受賞につながったとそうです。

6人の弁士の皆さんも、9月から何度も何度も文章を考え、何度も何度も書き直し、そして、何度も何度も弁論の練習をしたことと思います。今回惜しくも代表になれなかった皆さんも同じでしょう。弁論もスポーツも勉強も同じです。時間を費やした分だけ力がつき、よい弁論ができる。そういうものです。

行事が終わる度に、私は「伊里中学校はすごいなあ。」と思い、伊里中学校をどんどん好きになっています。これからも、より素晴らしい学校になるよう、一緒に頑張っていきましょう。

今日まで御指導くださった国語科の先生方、学年の先生方、御指導ありがとうございました。